

# 中国のトップ空港・上海浦東国際空港

岡山県上海事務所 馬小琳

(日中経済貿易センター上海事務所)

## 上海浦東国際空港の概要

上海市中心部から東へ約 30km に位置する上海浦東国際空港は 1999 年に開港し、2つのターミナルと 3本の滑走路を有するアジアのハブ空港のひとつである。

空港から上海市の中心部までは、タクシーやバスの他、地下鉄やリニアモーターカーも乗り入れている。

## 上海浦東国際空港の出入国状況

2015 年の出入国者数が 12 月 14 日、3,000 万人に達した。これは前年同期比 14.2%の増である。また、航空機の出入国便数は 19 万便で、前年同期比 9.3%の増であった。

出国目的地の 1 番目は日本、2 番目はタイ、3 番目は米国、4 番目はドイツ、5 番目はシンガポール、6 番目はフランスである。

2014 年の出入国数は 2,700 万人で、同年の北京首都国際空港は 2,000 万人、広州白雲国際空港は 1,000 万人超であった。上海浦東国際空港の出入国者数は連続 12 年間全国の空港においてトップとなっている。

現在、上海浦東国際空港のターミナル 2 には 15 の入国通路がある。ターミナル 1 でも新たに 10 の通路を作っている最中であり、乗客の入国手続きがさらに便利になると予想される。

## 地方都市でも相次ぐ国際路線の開通

北京、上海、広州の 3 都市の国際空港の利用者数は、年間 1 千万人を超える国際レベルに達している。出入国者数の多さは、その都市の国際化水準を測る重要な指標となっている。

西南地区の成都、昆明の空港は、「ランク 2」とされており、2014 年以来、成都、重慶、昆明、武漢、西安、杭州、南京、アモイなどの地方都市では、それぞれ 1 つあるいは複数の欧米直通国際路線が開通した。

国際路線を発展させるには、次の 4 つの条件が欠かせない。

- ① 多くの乗客
- ② 地理的優位性、トランジットの集客
- ③ サービスの充実
- ④ 中心となる航空会社の存在

## 上海浦東国際空港の日本路線

上海浦東国際空港の国際路線のうち、日本への路線が一番多く、岡山、東京、大阪、広島、福岡、札幌、名古屋、新潟、長崎、沖縄、鹿児島、小松などと結ばれている。東方航空の上海―岡山便は定期便が毎日就航しており、春秋航空も四国地方の高松まで就航している。

ターミナル 1 の改造工事の完成に伴い、上海浦東国際空港の利便性と快適性がさらに高まり、トランジットも含め、世界から多くの乗客を惹きつけるだろう。

(2015 年 12 月)